

1 学校教育目標

学ぶことと生きることの2つが1つになる生徒の育成  
～地域の未来を生むチャイムのない学校へ向けた開発的生徒指導を通して～

2 めざす姿（学校像・園児児童生徒像・教師像）

（学校像）地域の未来を生むチャイムのない学校（生活に密接し、卒業後も世の中に出て役に立つ教科横断的な思考や、活用だけでなく探究していく姿勢を義務教育小中9年間（特に小5より5年間）という発達段階に応じて育てる。）  
（生徒像）自らを大切にし、ともに高めあう生徒（**自知**：あいさつができる生徒、**自尊**：掃除ができる生徒、**自制**：自分たちで授業をつくり、ともにやる事ができる生徒）  
（教師像）生徒の思いを受け止め、心に深く入ることができる教師

3 現状と課題

本校は、校区内に2つの公立小学校と海風に囲まれた、スクールカラーがスカイブルーである開校35年目の学校です。チャイムのない学校として34年目を迎え、チャイムのない学校の理念として「自分たち生徒が授業をつくるんだ。」「自分たちが学校をつくるんだ。」「卒業し、保護者になり、地域の人になっていく時に、自分たちが社会をつくっていくんだ。」という気概が持てる生徒をつくる、そのために、「生活に密接し、卒業後も世の中に出て役に立つ教科横断的な思考や、活用だけでなく探究していく姿勢を義務教育小中9年間（特に小5より5年間）という発達段階に応じて育てる。」という行動を全教師が取る。具体的には、ひろしま型カリキュラムを活用して言語活動の充実を図る。そのために「ICTいいとこ見つけ！」カードを活用した開発的生徒指導を行う。その中で、小小中共通した育てたい生徒像を持つことと義務教育小中9年間でつける学力・体力と、その指導法を明確に持つことが必要である。

4 目標

[中期経営重点目標]

今後3年間において小小中公開研を通し、育てたい生徒像と義務教育小・中9年間でつける学力を学校と家庭と地域において共有化すること。そのために指導法（目標と指導と評価の一体化による授業づくり）を明確にすることと、開発的生徒指導を行うこと。

1年目（一昨年度）研究主題「言語・数理運用科を活用した授業づくり～小中のコネクティングを活用した生徒の育成を通して～」五日市南小を軸とした小小中

2年目（昨年度）研究主題「自分たちで授業をつくるんだ」活用だけでなく、探究していく姿勢を持つ生徒の育成をめざして～ひろしま型カリキュラム言語・数理運用科を核とした授業・学級づくりを通して～」楽々園小を軸とした小小中

3年目（本年度）研究主題「思考力・判断力・表現力を育成するひろしま型カリキュラムを活用した言語活動の充実をめざして～「ICTいいとこ見つけ！」カードを活用した開発的生徒指導を通して～」五日市南中を軸とした小小中

4年目（来年度）研究主題「自分たちが学校をつくるんだ」「卒業し、保護者になり、地域の人になり、自分たちで社会をつくっていくんだ」～特別活動を活用したひろしま型カリキュラムを通して～

5年目（再来年度）研究主題「自分たちが学校をつくるんだ」「卒業し、保護者になり、地域の人になり、自分たちで社会をつくっていくんだ」～総合的な学習の時間を活用したひろしま型カリキュラムを通して～

[学校経営目標]

小小中を活用した開発的教育活動を行うことにより、「知・徳・体」の基礎・基本の徹底を図り、生徒の人間力(学ぶ力と生きる力)を高め、地域の未来を生むチャイムのない学校づくりをめざす

<経営方針>

- (1)ひろしま型カリキュラムを活用した言語活動の充実をはかった授業づくりの展開により、各教科領域における「知・徳・体」の基礎・基本の徹底を図る。
- (2)教職員の資質向上に努め、目標と指導と評価の一体化のある授業づくりを行う。そのために小小中を活用した授業研究・評価規準づくり・開発的生徒指導・特別支援教育を行う。つまり、目標である生徒像を豊かにする。
- (3)小小中を活用し、義務教育修了時に必要な生徒像を明確に持ち、指導し、学校評価を受け改善する。
- (4)会計管理・危機管理と共に、施設・設備の充実と機能的な活用を図り学校環境の整備・安全・美化・特に学力補充のできる空間や時間を工夫する。

[評価指標]

- 地域・保護者をまきこんだ小小中合同公開授業研究会を開くこと。
- ・ 最重点評価指標の分析
- ・ 小小中重点（知・徳・体）評価指標の分析

	短期経営重点目標（3年目：本年度）	評価指標	主な具体的方策
最重点	<p>○「ICT いいところ見つけ！」を軸に、小中学生指導ギャップの解消を図る。 （生指・教務・生徒会・研究）</p> <p>＜小小中連携推進委員会＞</p>	<p>・「いいところ見つけ」や「ほめほめカード」の実施により生徒が肯定的評価を受けたと感じられること。</p> <p>・生徒全数アンケートの結果</p>	教室にカードを置いておき、1日1人を目標として記入していく。（悩みを抱える子どもの支援を含む）
			全学級で生徒同士の「ほめほめカード」等に取り組む。（生徒の作品展示を含む）
			「ICT いいところ見つけ」を小中で行う。（小5以上）
小小中重点	<p>○ひろしま型カリキュラムを軸に、国語科、算数・数学科、英語科の小中ギャップの解消を図る。</p> <p>○新指導要領実施に向けた評価規準を作成する。 （教務・研究）</p> <p>＜小小中連携組織（知）学力向上部＞</p>	<p>・12歳の育ちの姿を小中で共有する。 （小中ギャップ解消のために年間を通して集まった回数）</p> <p>・全国学力調査（小中）の結果</p>	国語、算数・数学、言語・数理運用科、英語、道徳の研修チームを作り、指導計画・指導案づくりを通して9年間の指導の流れを意識した授業づくりにいかす。（小中一貫した朝読書のあり方・言語活動の充実）
			新学習指導要領実施に向けた小小中連携をする。
			教科主任会を実施し、新学習指導要領実施に向けた教科会を通し、評価規準づくりを充実させる。（学習形態の工夫を含む）
	<p>○生徒指導の3機能（自己存在感・共感的な人間関係・自己決定）を生かした小・中義務教育9年間の教育活動を推進するために、開発的生徒指導にもとづく道徳教育を行なう。 （生指・生徒会・教務・研究）</p> <p>＜小小中連携組織（徳）豊かな心育成部＞</p>	<p>・生徒指導の3機能を生かした開発的生徒指導のアイデアの数</p>	教育相談を活用し、悩みを抱えた子どもの支援を充実させる。（特別活動の充実）
			グループエンカウンター、コミュニケーションスキル学習を取り入れる。ライフスキル教育の研修を持つ。（特別活動の充実）
			協同学習を実施することでお互いの心を開き、本音が語れる環境作りに努める。（3機能を生かす授業づくり）
<p>○小小中の連携による効果的な体力づくりを推進する。 （生徒会・体育科・研究）</p> <p>＜小小中連携組織（体）体力部＞</p>	<p>・小小中連携の回数。</p> <p>・体力調査（小中）の結果</p>	小中9年間の系統表を作る。（生徒理解や学力・体力分析の小中合同研修会を含む）	
		夏季休業中の小学校水泳補充への生徒の参加～スイミングサポートボランティア～（特別活動の充実）	